

その後、再開することなく、今シーズンの幕を閉じました。リフトの利用客は昨年の16%程度。ホテルシェーナハイム金山では宿泊客のキャンセルもあつたようです。ま



㊤上台峠から望む金山三峰も冬とは思えない光景（2月28日撮影） ㊦まとまった積雪が続かずオープンが大幅にずれ込んだ神室スキー場



悩みながらも18色のクレヨンで白紙のページを彩っていく園児ら

認定こども園めぐたまでは卒園記念として、年長園児一人ひとりがオリジナル絵本を制作しています。ストーリーはお楽しみ会で発表した劇の原案で、園児のみんなが考えたもの。内容が同じでも、絵本は園児の数だけ存在します。

世界に一冊の手作り絵本を胸に個性豊かな31名が「めぐたま」を卒園

細部までこだわった子や全面を使ってダイナミックに描く子など…。めぐたまで育んだ自由な発想力を働かせ、卒園前に約1カ月かけて完成。3月21日には卒園式が行われ、「世界に一冊の絵本」を胸に、個性豊かな31名が園を旅立ちました。

記録的な少雪となった今冬 安堵する一方で町の経済に爪痕も

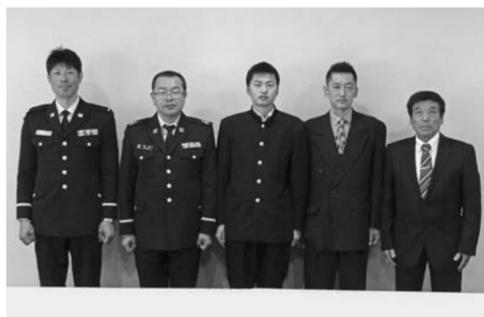
記録的な暖冬と言われた今年の冬。本州付近への寒気の南下が弱く、冬型の気圧配置が続かなかつたことなどが、暖冬の原因と言われています。気象庁の金山観測所における今冬の最大積雪深は2月8日の61cm。雪の多かつた一昨年の3分の1以下です。経験したことのない少雪に、「除雪の必要がなくて楽だった」などと胸をなでおろす方がいた一方で、雪国ならではの「困惑」の声も聞かれました。

た、金山の冬を盛り上げる各種スキー大会もその多くが中止に。少年少女スキーヤーは、不完全燃焼な年だったかもしれません。令和になって初めて迎えた冬は、記録と記憶に残るシーズンとなりました。

自衛隊入隊者激励会を開催 新入隊の松田渉さんへ町からエール

3月4日、この春に自衛隊に新入隊する松田渉さん（十日町）の激励会を開催しました。今年、金山からの入隊は松田さんひとり。25日には、航空自衛隊一般曹候補生として着隊されました。松田さんが「全国各地で活動する自衛隊の姿を

見て国を守る自衛官になりたいと思った。皆さんから応援してもらえように頑張りたい」と決意を込めて述べると、親御さんのほか、集まった関係者はエールを送っていました。実は兄の悟さんも自衛官。兄弟お二人の今後の活躍に期待しています。



激励会で親御さんのほか自衛隊関係者と記念撮影する松田さん（中央）

町から賀詞・お祝い金を贈呈 祝！小野サクヨさんが100歳

小野サクヨさん（下中田）が、2月25日に100歳の誕生日を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。サクヨさんは大正9年生まれ。ご自身にとって4時代目となる令和を迎えた大きな節目に、ご家族も駆けつ

け、祝福を贈りました。サクヨさんは「ばあちゃんおめでとう」の呼びかけに、白い歯を見せ「ありがとう」と応えていました。これからも健康に留意され、長生きしてください。100歳のご長寿、おめでとうございます。



ご家族や入所しているみすぎ荘の職員皆さんに囲まれるサクヨさん

地域主体としては最上地域で初となる地域運営組織「なかだ地域づくりの会」（千川原正弘理事長）の設立総会が3月15日、旧中田小学校を会場に開催されました。急激な人口減少などにより地域の元気が薄れる現状を踏まえ、中田地域では、県や町の支援を受けて、平成29年1月から山形県地域運営組織形成モデル事業に取り組みしてきました。集落調査や住民アンケート、住民ワークショップなどを重ね、持続可能な中田の実現にむけた「地域計画」を策定。よりよい地域づくりを進めるために、5か年計画で随時見直しを行いながら、健康増進活動や環境保全活動、中田祭などを通して、誰もが愛着と誇りを持つて安心して暮らしていける地域をめざします。総会では、設立までの助言をいただいたきたNPOもがみ代表の沼野慈さんが「地域づ

県立高校一般入試の合格者が発表 新庄南高校金山校では19名が合格！

なごり雪の降る3月17日、県立高校一般入試の合格者が発表され、新庄南高校金山校では10時に南高校金山校では10時になると、集まった受験生らに結果が配布されました。受験した町内外の19名全員がめでたく合格。自身の受験番号と一致していることを確認して、

とび跳ねる姿など、ほほえましい光景が広がっていました。入学式は4月8日に行われる予定。新庄市内の中学校出身の方は「高校では勉強を頑張りたい」と意気込んでいました。金山校生らしく躍動してほしいと思います。

自分たちの地域は、自分たちで守る 「なかだ地域づくりの会」が設立される



㊤安心して暮らすため、地域課題である雪対策をテーマに除雪支援講習会などを開催 ㊦「なかだ地域づくりの会」設立総会の様子。千川原理事長があいさつ

くりには、女性や子どもがどんどん参加できる体制が必要。ぜひ中田地域が先駆けとなつて取り組んでいただきたい」と激励。他の模範となる中田の地域づくりが注目されます。